

Noto students fund



能登半島地震

学生による支援募金プロジェクト

NSF

## NSFとは?

2024年1月1日に起きた能登半島地震は、石川県を中心に甚大な被害を引き起こし、現在もその傷跡は深く残っています。その被災地に、私たち学生ができる支援を届けようという思いで立ち上げたのがこの団体です。



代表 中山 智尋

2011年の東日本大震災の時の記憶はほとんどなく、教科書で読んだような情報しか知らなかった私は今回のニュースを見たとき、本当にこんな恐ろしいことが起こるんだと衝撃を受けました。被災から3ヶ月がたった現在も6600戸以上で断水が続いているなど、まだまだ被災してからの復興が進んでいない町が多く深刻なボランティア不足も発生しています。

学生が被災地支援に関わるというのは大変困難なことです。どうしても活動内容に制約が生まれできます。しかし、中でも被災地の力になるために学生にできることはないかと考え続けてきました。現在は、自分たちが募金を行う側になることで、ほんの少しでも被災地の支えになりたいと思い活動しております。学生が支援活動に関わるからこそ意味があるのです。私たちの活動を通して、全国の学生が被災地の事を想っていること、そしてこういう時こそ助け合いが大切であることを伝えていきたいです。私たちは活動を止めません。

最後になりますが、少しでも被災者の支えになることができれば幸いです。今後とも、精一杯活動して参りますのでご協力をよろしくお願いいたします。

団体名 能登半島地震・学生による支援募金プロジェクト NSF  
E-mail [nikko.boykin.gakusei24@gmail.com](mailto:nikko.boykin.gakusei24@gmail.com)  
本誌 総務局制作  
表紙写真 能登島大橋

公式HP



<https://noto.stki.org/>

Instagram



[@noto\\_studentsfund2024](https://www.instagram.com/noto_studentsfund2024)

X(旧Twitter)



[@noto\\_funds](https://twitter.com/noto_funds)

## 活動方針

「能登半島地震・学生による支援募金団体 NSF」は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災された方々への支援として、募金活動・物資の発送・現地ボランティアなどを行うために、全国の中高中生から有志でメンバーを集めて活動しています。

全国から中高生が  
191人参加  
(4月5日時点)

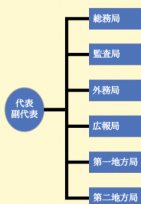
SNSを活用した  
情報発信

街頭募金や募金箱の  
設置など地域ごとの  
特性に合わせた活動

### 幹部役員

代表	中山智尋	浦和西高等学校
副代表	濱田伏志	早稲田大学高等学校
総務局	久保社太郎	立教池袋高等学校
広報局	角谷健吾	本郷学園中学校
外務局	石井秀征	工学院大学附属高等学校
監査局	保田雄亮	駒込高等学校
第一地方局	田中希望	福井工業大学附属福井高等学校
第二地方局	萬川誠悟	京都産業大学附属高等学校

### 組織図



## 支部

街頭募金を実施、募金箱を設置、学校募金など支部ごとの特性に合わせた活動を行っています。



## 活動について

### 街頭募金

新宿・品川・大阪で街頭募金を現在25回ほど実施し、100万円以上の募金が集まっています。

### 学校募金

支部ごとに学校内での活動を行う予定です。

### 募金箱の設置

5月からお店や施設に募金箱を設置させていただき、全国的に募金箱の設置を実施していく予定です。

### メディア

2024/2/29に埼玉新聞と2024/3/1に東京新聞から取材を受けさせていただきました。

## 募金先

- ・日本赤十字社 令和6年能登半島地震災害義援金
- ・石川県 令和6年能登半島地震災害義援金窓口

## 後援



メディア「steenz」様



生徒会情報機構「TRANS」様